
無いはずのココロ

伊咲卓

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

無いはずのココロ

【Nコード】

N5402E

【作者名】

伊咲卓

【あらすじ】

異世界の小島に連れてこられ、殺し合いを強要されたネギ先生とその生徒たち……………

ちゃっ……茶々丸…さん、どうして……。

この異世界に連れてこられて、只今48時間と6分9秒経過しました。3-Aの31名と3-Aの担任のネギ先生が…、あの仲のよろしかったクラスのみなさん方が…、殺し合い……殺し合い続け、多くの方々が亡くなられていきました。

私の収集したデータによると、生き残っておられるのは、私を含め、ネギ先生と綾瀬夕映さん、宮崎のどかさん、そしてマスターのたった5人だけになってしまいました。

先程

「亡くなられていきました」といいましたが、その半数はマスターの命により、私が手を下しました。

私が手を下したクラスの方々は、

「茶々丸さんやめてえな…、ウチまだ死にとうない…。」など、みなさん『死への拒絶』を口にされていました。

ですが、私は心を持ち合わせていないアンドロイド、マスターの命令を従うだけの人形には『死への拒絶』の言葉は、ただの死に逝く者の戯言にしか聞こえないのです……

茶々丸が夕映の親友であるのどかに手を下し、残りの人数が4人になったことが、この異世界の殺し合いが繰り広げられている小島全域に伝えられた。それをネギと一緒に聴いた夕映はその場に、崩れ落ちた。

図書館探検部の木乃香やハルナが殺されたこと知りつつも、親友であるのどかが生き残っているということが、心の支えになっていた夕映の精神はこの時完全に崩壊してしまった。充血した目を見開き、涙も流さず、ただ崩れ落ちた体を硬直させていた。

それを見据えていたネギは、困惑していた。常に大人のような振る舞いをしてきたネギだが、本来は10歳の子供なのである。大切な人を亡くした者を慰める技量など持ち合わせているはずもなく、その場に立ち尽くすことしかできないでいた。

それから長い沈黙の時間が過ぎた時、エヴァが茶々丸を連れやって来た。

「茶々丸、そこに倒れてる小娘を殺してしまえ！サウザンドマスターの息子であるボーヤは、そう易々と殺してしまうのは惜しい、私がじっくり時間を掛けていたぶり殺してやろう」

エヴァの命令に従い、茶々丸は崩れ落ち硬直して状況を飲み込めずにいる夕映の心臓に刃物を突き刺した。

心臓を突き刺され、力尽きる前に夕映は

「いつ…、痛くは…、ありません、こっ、これで…のどか…
といっしょ…に…いられるなら…」と呟
き、もう喋ることはなかった。

一方、残されたネギは、エヴァに両手両足の4力所に刃物を刺され身動きがとれないようされた。

そしてネギの体の致命傷にならない部分に何十力所も刃物を突き刺された。

その光景を見ていた茶々丸は、人間ならば心臓がある部分におかしな感覚を覚えた。

「どうだい、ボーヤ？痛いだろう？さて、これ以上痛めつけるのはやめにして、ひと思いにとどめを刺してやろう」

エヴァは狂気の笑顔を浮かべながら、本来吸血鬼の息の根を断つために使われる大きな杭を取り出し、それをネギの左胸に当てた。

ネギは死を覚悟し目をつぶった…………。

しかし、なかなか死が自分を迎えに来ない、すると急にエヴァのうめき声が聞こえた。

ネギは目を開くと、そこには思いがけない光景が広がっていた。

ネギに刺されるはずだった杭が、茶々丸の手によってエヴァの胸に刺され、エヴァは悶えているのだ。

「おっ……お前なに……をしたか……わかつ……ている……のか、馬鹿者が……私は……お前の……マ……ス……ターだぞ、茶々丸……ただで……済……むと思う……な」そう言つとエヴァは最後の力を使い茶々丸の体を粉々にし、力尽きた。

「ちゃっ……茶々丸……さん、どうして……僕を……」ネギは茶々丸に問いかけた。

だが粉々になってしまった茶々丸はその問いに答える術を持たない…………。

（後書き）

駄文でスイマセン…。一応処女作になりますのでご勘弁を

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5402e/>

無いはずのココロ

2010年10月10日13時59分発行